


ほりかわ ひでき
堀川 秀樹 (さばえ結の会)




令和8年度予算について

問 甲府×鯖江“つくる”プロジェクトについて、全庁横断で多分野にわたり推進するとされているが、どのような取組を考えているのか。

答 産官学金言による官民連携を視野に入れて取り組んでいく。ものづくりという両市共通の強みを生かす中で「つくる」をテーマに、商品づくり、きっかけづくり、共感づくり、人づくり、魅力づくりの5つを柱に事業の展開を図っていきたい。



かえりやま あきお
帰山 明朗 (無所属の会)




水道事業、赤字解消へ料金改定を検討

～老朽水道管40kmの耐震化が急務。料金改定は市民生活への影響を考慮し慎重に議論を～

問 本市の水道事業の課題と今後の経営は。

答 人口減少や節水機器の普及等による減収と受水費の負担により平成23年度以降は赤字が継続している。また、病院・避難所等へ供給する重要管路の老朽化対策・耐震化を優先して進めているが、約40キロメートルが未整備で今後も多額の費用が必要でその財源確保が急務。令和7年度中に経営戦略等を改定し、令和8年度以降は料金等改定検討委員会を設置して、適正な料金体系の検討や官民連携(ウォーターPPP)の

たなか よしゆき
田中 良幸 (創造)



① 嚮陽会館の改修工事について

② 市内で行われているイベントに対する助成、補助について

③ 鯖江駅からサンドームに至る道路の整備について

【やりとりと意見】

①改修費36億円のうち、電気設備、機械設備の費用が11億円、改修費の約3分の1と大きな割合を占める。その理由を問うたが、導入する設備については羅列されたが、個々の予算額については入札前ということで細かい数字の回答は得られず。

問 プレイヤースクールとは、具体的にどのような取組なのか。

答 まちづくりの基礎を学ぶ最初の一步講座、広報手法などを習得する実践的な講座、参加者が作成した企画に講師が継続的に寄り添う伴走支援など、多段階の学びを提供する。参加者には、企画づくりから実践、継続へとつながる力を身につけてもらい、将来的には、自らの活動を自走できる人材への成長を目指す。

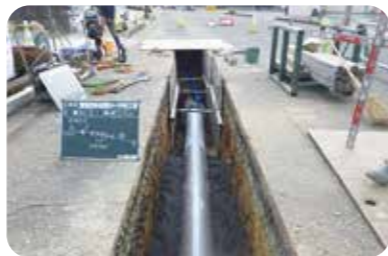
問 獣害対策、特にクマ対策についての予算は。

答 国が新たに創設した補助制度を活用し、緊急銃猟に必要な安全装備、無線機等の備品整備経費に加え、出没抑制対策として、柿の木などの誘引木の伐採経費を含めて、令和8年度は総額382万円を計上している。

導入可能性調査を進め、経営健全化を図りたい。一般会計に依存しない自立した経営に向けて、必要な財源の確保が大きな課題。

問 料金値上げは市民生活に配慮し慎重に行うべきだが。


答 現在の物価高騰による市民生活への影響は認識している。安定供給のため経営健全化は不可欠だが、水道料金改定の必要性、時期や内容については、市民負担に配慮し慎重に議論を進める。



②鯖江に人を呼び込むため市内開催のイベント等に支出した補助金は、昨年は24事業で総額7,191万円余、集客は32万1,000人余との回答。

一方で③については令和6年度にサンドーム福井で行われた公演には県外から約19万人が鯖江を訪れたとの認識。しかし、駅前から南に向かう県道の状況が悪い。10年前の9月議会でも同様の質問が出ているが、整備はいまだ手つかず。県道だから県の責任と手をこまねいているのではなく、まちの印象に大きく関わることなので市単独で整備を急いでは、と提言した。19万人は向こうから来てくれる。その方たちに笑顔になってもらいたい。一方でお金をかけて人を集めても、悪い印象を持って帰ってもらうようなことをしては、「頭隠して尻隠さず」ではないかと。


とうい ただよし
東井 忠義 (市政新風会)



嚮陽会館の屋上はデッキより太陽光発電を

問 嚮陽会館複合化の工事費が、当初24億4,000万円であったのが、次第に膨らみ、最近では36億3,000万円と、1.5倍になっている。さらに子どもの屋内遊び場が整備されるのにと2年半もかかるという。これらのことに市民の不満を聞く。費用がこれだけ膨らむと、無駄を省くことが必要で、少なくとも利用可能日数の少ない屋上整備を止めるべきである。いっそ、屋上にソーラーパネルを設置して自家発電し、電気料を賅ってはどうか。よほどそのほうが先進的である。隣市では体育館の屋根にソーラーパネルを配置して、施設の電力

ふくはら としひろ
福原 敏弘 (さばえ結の会)



令和8年度予算編成について 鯖江の経済振興について

問 ものづくり産業の人材確保について。

答 若年層の県外流出も相まって、人材確保は一層厳しさを増している。市では学生と市内企業とのマッチング機会の創出、小中学校段階からものづくりに触れるふさと教育の推進、企業訪問を通じたきめ細やかな採用支援に取り組んでいる。外国人材の活用は、FUKUI外国人材受入サポートセンターとも連携しながら、必要に応じて県の支援制度の活用を促すとともに、受入れ環境への支援についても検討している。

問 神明地区に点在する眼鏡ファクトリーショップを核に、地域の歴史、文化、食を生かした産業観光エリアの面的整備

を幾らか賅っている。考えは。

答 嚮陽会館においても導入の可能性について十分検討した。しかしながら、本施設の屋上に太陽光発電の設備を設置する場合、構造の補強などが追加で生じる可能性がある。また、電気料金の削減効果により初期投資を回収するにはかなりの期間を要すること、さらに設置後において、維持管理費や廃棄処分の課題も想定される。これらを総合的に勘案して、現段階では太陽光発電設備の設置を見送ることとした。

意見 隣市は、環境省の補助を受けたそうである。ソーラーパネルについては軽量のものも出てきている。隣市では幾つかの施設で、環境政策におけるゼロカーボンに取り組むシンボリックな政策として導入したそうである。本市も、今後検討されたい。

を推進し、高い技術力の発信と地場産品の認知度向上を図るプロモーション予算について、予算規模とこれまでの成果、今後の取組は。

答 神明駅を中心とした半径2キロメートル圏内には、眼鏡のファクトリーショップが8店舗あり、それ以外にも兜山古墳などの歴史、文化資源、多彩な飲食店が集積しているエリア。これらを点から面へと有機的に結び、回遊性を高めることで、産業観光の推進と「めがねのまちさばえ」のブランド力向上を図ることを目的としている。県に採択された事業は、3年間でハードが1億円、ソフトで1,500万円、補助率3分の1。最大事業規模3億円とソフト事業4,500万円といった事業スキームである。令和8年度は、今計上している予算でしっかりと計画を立てながら、令和9年度に向けて整備を進めたいと考えている。

本会議をしてみよう!

市役所の議場で

鯖江市議会は、市役所の議場で傍聴することができます。



You Tubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。
*右のQRコードまたは各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ることで視聴できます。



こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。
*掲載までに時間がかかる場合があります。順次掲載いたしますので、ご了承ください。